

九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科 修士論文一覧

(指導教員の職位は大学院学生が修了した当時のもの)

■令和3年度 看護学専攻

分野・領域	論文題目	大学院学生	指導教員
実践看護学分野	認知症発症を想定した高齢者の人生最期の迎え方への希望と現状	宗像 尚美	生野 繁子 教授
実践看護学分野	男性看護者のエンパワメントとワーク・ファミリー・コンフリクトの現状	山本 詠子	生野 繁子 教授
実践看護学分野	インスリン注射等を必要とする高齢者の施設入所条件と糖尿病ケアの現状	米村八重子	生野 繁子 教授
基礎看護学分野	看護系大学生の協同学習の経験からみた批判的思考力、コミュニケーション能力の獲得	伊東 香織	柴田 恵子 教授
実践看護学分野	臨地実習評価における看護系大学教員の困難感	川本 紀子	山本 恵子 教授

■令和3年度 健康支援科学専攻

分野	論文題目	大学院学生	指導教員
口腔機能支援科学分野	アクティブラーニングを導入した歯科衛生士教育が職業価値観に与える影響	十時 彩	徳永 淳也 教授
身体機能支援科学分野	大腿部への Tissue Flossing が最大等尺性膝伸展筋力に与える影響	木村 倖晴	大池 貴行 教授
身体機能支援科学分野	立位体幹伸展動作での腰椎骨盤帯と下肢の運動学的特徴及び性差の検討	多々良大輔	大池 貴行 教授
身体機能支援科学分野	変形性股関節症患者における人工股関節置換術後の歩行時股関節運動機能の推移	野口 裕貴	大池 貴行 教授
身体機能支援科学分野	性差からみた上肢拳上動作における肩甲骨動態と筋活動特性	藤原真由美	大池 貴行 教授

『九州看護福祉大学紀要』投稿内規および執筆要領 (2020年11月 改正)

1. 九州看護福祉大学紀要は、次のように4区分して編集する。
 - 一 原著論文 (Original Article) : 調査・研究に関する論文で原則的に独創的な内容、新しい事実を含む研究論文としての形式が整っているもの
 - 二 総説 (Review) : ある主題に関連した研究の総括、提案や提言
 - 三 研究報告 (Study Report) : 内容的に原著には及ばないが、研究結果の意義が大きいもの
 - 四 その他 (Others) : 上記の分類以外で重要な記録に該当するもの
2. 投稿者は、本学専任教員、名誉教授、非常勤講師とその共同研究者および紀要編集委員会が認めた者とする。
3. 投稿原稿は、国内・外の他の出版物に既に発表あるいは投稿されていないものに限る。
4. 人を対象とする内容の場合は、ヘルシンキ宣言を遵守し、原則として本学の倫理委員会に申請し承認されたものであることとし、本文に明記する。動物実験の場合も同様に、本学の動物実験委員会に申請し承認されたものであることとし、本文に明記する。
5. 投稿は、プリントアウトした原本1部、複写2部の計3部を提出する。複写については著者氏名、所属、謝辞など、著者を特定できるような事項を削除する。最終原稿提出時には原稿を保存したCD-RまたはUSBメモリなどを添付する。
6. 紀要に掲載を希望する者は、別に定めた「紀要投稿申込書」に所定の事項を記入し、紀要編集委員会が定める日までに紀要編集委員長まで提出すること。また、原稿投稿時には、別に定めた「投稿確認書」を添付すること。
7. 投稿確認書には原稿内容に添った希望審査専門分野を記入する。但し紀要編集委員会はこの希望に拘束されない。
8. 投稿は、〒865-0062 熊本県玉名市富尾888番地 九州看護福祉大学紀要編集委員会宛とする。
9. 投稿は編集委員会が別に定めた日を締切日とし、この日を過ぎて投稿されたものは認められない。但し、委員長が妥当と認めた遅れについては、2週間までをその限度として投稿原稿は受理される。
10. 投稿論文掲載の採否は、審査員2名の査読を経て紀要編集委員会で決定する。
11. 校正は著者校正1回のみとし7日以内に行う。校正の際、内容の変更、加筆または削除は出来ない。
12. 本誌に掲載された論文の著作権は、九州看護福祉大学に帰属する。また、投稿論文の全文が「本学リポジトリ」に、著者名および抄録が「医学中央雑誌データベース」に掲載される。
13. 投稿原稿の執筆要領
 - 一 投稿内規および執筆要領に準拠しないものは受け付けない。
 - 二 投稿論文の使用言語は日本語または英語とする。原稿は、Windows版 Microsoft Word を使用し、A4判用紙に横書きとする。日本語論文は、明朝体・文字サイズ10ポイント、文献・注釈は9ポイントで、1頁23字42行2段組で印字する。ただし、要旨は9ポイントで、1頁44字46行(段組なし)で印字する。原則として、最大文字数は、図表・注・文献などを含めて20,000字とする。英語論文も同様のフォーマットとし、同程度の文字量 (7,000 words maximum)、Times 10.5 point (References は 9 point)、double space で1頁42行2段組、Abstract は Times 9 point とし1頁46行(段組なし)で印字する。図表は本文中に挿入し、刷り上りのイメージにて印刷する。ただし、最終原稿受領後、紀要編集委員会の判断により、投稿者の意図を損なわない範囲内で図表の位置を変更する場合があります。図表は、以下の通り換算する。
 - イ 刷り上がり1ページ: 1,600文字相当
 - ロ 刷り上がり1/2ページ: 800文字相当
 - ハ 刷り上がり1/4ページ: 400文字相当
 - ニ 刷り上がり1/6ページ: 260文字相当
 - 三 特別な理由がある場合は、縦書きも可とする。ただし、その場合は別途理由書を提出すること。
 - 四 投稿論文の形式は、表題 [Title]、著者名 [Authors]、所属 [Affiliations]、要旨 (800字以内) [Abstract (within 500 words)]、キーワード (5件以内) [Keywords (within 5 words)]、本文 [Text] とする。本文 [Text] は原則として、緒言 [Introduction]、方法 [Methods]、結果 [Results]、考察 [Discussion]、結語 [Conclusion]、謝辞 [Acknowledgment]、文献 [References] の順とする。人文・社会科学あるいは語学関係の本文も可能であれば上記の様式にあわせることが望ましいが、関連する学会誌等の投稿規程の執筆要領に準ずるものとする。総説などで本文に章立てが必要な場合、項目番号は I. → 1. → 1) → (1) とする。なお、原著論文および総説については、日本語論文には英文の、英語論文には和文の表題、著者名、所属、要旨、キーワードを論文の最終ページに添付する。
 - 五 表、図および写真等はモノクロを基本とし、必要に応じてカラーとする (100MB を上限とする)。表のタイトルは表の上欄に、図のタイトルは図の下欄に、それぞれ図表番号とともに記す。また、表の説明等は表

の下、図の説明は図のタイトルの下に記す。投稿の際、刷り上りのイメージで本文中に挿入して印字し、投稿すること。

六 外国人名や地名などの固有名詞、および歴史用語などには、初出時に括弧内に原語を付す。専門用語は関連する学会で定められた用語を用いる。略語を使用する場合は、初出時に括弧内に省略しない正式名を付す。

七 単位として、mg、g、kg、mm、cm、s、min、h、mM、ml、l、℃、%などを用いて、国際単位系(SI)の記載に従う。数字は特別な場合を除き、半角のアラビア数字を用いる。

八 文献は、本文中の引用順に、番号を上付き右片括弧内に記入し、文献欄に番号順に列記する。

九 文献記載様式

[学術論文] 著者名. 論文名. 雑誌名. 発行年; 巻(号): 頁-頁.

例1) 長谷川和夫. 老年期の心身医学…現状と展望. 心身医学. 1994; 34 (1): 15-31.

[著書(単著)] 著者名. 書名. 発行都市名: 出版社名; 発行年. 頁-頁.

例2) 白佐俊憲. 研究の進め方・まとめ方. 東京: 川島書店; 1990. p.15-32.

[著書(編著)] 著者名. 題目名. 編集者名. 書名. 発行都市名: 出版社名; 発行年. 頁-頁.

例3) 星 亘二, 森本兼囊. 生活習慣と身体的健康度. 森本兼囊 編. ライフスタイルと健康-健康理論と実証研究. 東京: 医学書院; 1991. p.61-65.

[Webサイト] 著者名(公開年). 表題. Webサイト名. URL(閲覧年月日)

例4) 厚生労働省(2019). 令和元年(2019)人口動態統計(確定数)の概況. 厚生労働省ホームページ. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei19/index.html> (2020年1月10日閲覧)

十 注釈は、本文中で出現順に、*番号を上付き右片括弧内に記入し、注釈欄に番号順に列記する。

14. 査読について

一 審査員2名は紀要編集委員会にて選定し、紀要編集委員長が依頼する。

二 編集期間の都合上、原則3回までの査読とする。また、3回目の査読の結果においても大幅な修正が必要となった場合は、修正後に次号への再投稿とする。

1回目	2回目	3回目
・掲載可	・掲載可	・掲載可
・修正して掲載可	・修正して掲載可	・修正後、次号に再投稿
・修正後再査読	・修正後再査読	
・掲載不可		

附 則

この内規および要領は、令和元年12月5日から施行する。

附 則

この内規および要領は、令和2年11月18日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

編集後記

九州看護福祉大学紀要第22巻の発行にあたり、ご投稿いただきました皆様をはじめ、査読や編集にご協力いただいた関係者各位に厚く御礼申し上げます。

今回は、原著論文4編、総説2編、研究報告4編、その他2編を掲載することができました。内容として、新卒および認定看護師への卒後教育支援、女性の精神保健福祉士が抱えるディレンマ、歯科衛生士の自己成長感とストレス対処能力の関わり、理学療法士養成における診断画像の活用、熊本地震被災地における保健師活動、健康食品の効果、コロナ禍への対応として行った代替実習・シミュレーション演習での工夫、文献レビューなど、バリエーションに富んだ研究の成果を広く紹介する紀要となりました。

一昨年来、繰り返し訪れる新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、教育の質を保持するために遠隔授業や代替実習の準備に多くの時間を費やし、その結果、研究活動にかかる時間の制限や調査・情報収集における制約が生じるのもやむを得ない状況にありました。しかし、今回も、投稿者、査読者および編集委員が各々の立場で入念な査読・修正のやりとりを重ね、掲載に至っております。是非ご一読ください。

今後も、本学の研究・教育のアクティビティを社会に還元する手段の一つとして、本紀要の充実に努めて参る所存です。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年2月

紀要編集委員長 徳富 芳子

令和3年度紀要編集委員会

委員長	徳富 芳子 (看護学科)
委員	二宮 球美 (看護学科)
委員	竹中 健 (社会福祉学科)
委員	角園 恵 (リハビリテーション学科)
委員	山本 良平 (リハビリテーション学科)
委員	内田 匠治 (鍼灸スポーツ学科)
委員	淀川 尚子 (口腔保健学科)

九州看護福祉大学紀要 第22巻 第1号

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare Vol.22 No. 1

2022年3月

発行者 九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

〒865-0062

熊本県玉名市富尾888番地

888 Tominoo, Tamana-shi,

Kumamoto 865-0062, Japan

TEL 0968(75)1800

FAX 0968(75)1811

紀要編集委員長 徳富 芳子

印刷所 シモダ印刷株式会社 熊本支店

〒862-0951

熊本市中央区上水前寺2丁目16-16

TEL 096(383)5512

FAX 096(386)5454
